

ふしぎなたね

中西 里緒

ある日、こぐまのくうは、野菜のたねを買いに出かけました。家で、野菜を育てようと思っているのです。

お店について、たねが売っているところにいきました。にんじんのたねや、だいこんのたね、ほうれん草のたね……。いろいろなたねが売っています。

「何の種を買おうかな？」

くうは考えました。

「どれにしようかな？」

くうは、たねが売っているたなのはしからじゅんばんに、いろいろなたねを見ていきます。

とちゅうで、気になるたねを見つけました。

「ふ、し、ぎ、な、た、ね？」

ふくろには、ふしぎなたね、とかいてあります。

「何のたねなのかな？ 気になるなあ」

くうは、そのたねを買うことにしました。

家にかえって、くうは、ふしぎなたねのふくろをあけてみました。出てきたのは、一まいの紙と、ピンクやきいろや、みずいろのカラフルなたねでした。

紙には、こうかいてあります。

「このたねは、土がいりません。入れものにたねをひとつぶ入れて、あなたのすきな食べものを一つ言ってください。そして、水をやってください」。

くうは、さっそく紙にかいてあるとおりにためしてみました。カップにたねをひとつぶ入れて、

「カレーライス」

と言って、水をあげました。

次の日、朝がやってきて、くうは起きました。くうは、きのうのたねが気になってしかたがありません。

「何かかわったかな？」

くうは、きのうのたねが入ったカップを見てみました。すると…… 何と、カップから長いつるがのびて、カップの外には、できたてのカレーライスがあるのです。

「カレーライスだ！ ぼくの大すきなカレーライス！」

くうは、もう大よろこびです。だって、ふしぎなたねから、じぶんの好きな食べものができたんですもの！

くうは、カレーライスをぺろりと平らげました。そして、「次は、何にしようかなあ」と、わくわくしながら考えるのでした。さあ、くうは、こんど何を食べたいと思うのかな？

みんなは、このふしぎなたねがあったら、何を食べたいかな？